

令和7年6月12日会議概要

第1 日時

令和7年6月12日（木）午前9時20分から午前11時45分までの間

第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森委員、森田委員、増田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

(1) 令和7年度京都府留置施設視察委員会委員に対する任命書交付式（6月6日）

委員から、「留置施設視察委員に任命書を交付させていただいた。委員が分担して23留置施設を視察し、市民感覚からご意見をいただくことになる。人権を確保しながら、被留置者の処遇がなされているかということは、警察全体の姿勢に関わることだと思うので、1年間きっちりと仕事をしていただくようお願いした。」旨、報告があった。

(2) 第48回京都府警察逮捕術大会視察（6月6日）

委員から、「大会開始前に怪我等に対する注意が主催者からあり、医師も配置のもと、万全の態勢で臨んでもらった。また、実戦しながらで見応えのある試合が多く、小柄な者が機敏に動き、大柄な相手を制圧していた姿に力強さを感じた。」旨、報告があった。

2 議題

(1) 「京都府警察学校オープンキャンパス2025夏」の開催について

警務部長から、警察官の採用を強化する取組の一環として、本年7月5日、警察学校において「京都府警察学校オープンキャンパス2025夏」を開催する旨、報告があった。

本年3月、同様の取組として、「京都府警察オープンカンパニー2025春」を開催したところ90人が参加し、そのうち受験資格のある年齢の者の7割が受験するなど、一定の成果が認められた。

また、今回はオープンキャンパスとして警察学校学生寮の見学等、警察学校の生活をより詳しく見てもらう取組を行う旨、説明があった。

委員から、「一般の大学や高校においては、オープンキャンパスの参加者数と受験者数はリンクしており、オープンキャンパスを大変重視しているので、同様の取組を強化するのは、警察官採用についても効果的と思われる。」旨、発言があった。

(2) 「京都府警察学校サテライトキャンパスin福知山」の開催について

警務部長から、警察官の採用を強化する取組の一環として、本年7月19日、福知山市武道館において、「京都府警察学校サテライトキャンパスin福知山」を開催する旨、

報告があった。

京都府北部地域で、警察本部が主導となり今回のような採用に向けた取組をするのは初めてであり、現在参加の申込みについて、引き続き積極的に働きかけていく旨、説明があった。

委員から、「福知山で行われるオープンキャンパスでの乗車体験は、非常に分かりやすい内容であるので、警察学校で行われるオープンキャンパスでも取り入れたらどうか。」旨、意見があり、警務部長から「今後の参考とする。」旨、回答があった。

また、委員から、「先日の16都道府県公安委員連絡会議においても、各府県、『採用が厳しい』『応募が少ない』ということで工夫を凝らしていると報告があった。このような取組は大切であり、引き続きよろしく願う。」旨、発言があった。

さらに、委員から「寮生活に対する不安を感じている初任科生が多いと聞いたが、採用試験の応募時等に警察学校に立ち寄り、寮の見学を希望することは可能であるのか。」旨、質問があり、警務部長から「基本的にそのような取組はしていない。」と回答があった。この点について、警察本部長から、「一部県警で、寮も含めて警察学校の状況を撮影した動画をSNSで紹介しており、京都においても検討していきたい。」旨、発言があった。

(3) 第15回自転車交通安全CMコンテストの実施について

交通部長から、交通安全教育の中で自転車の交通安全に関するCM制作を通じ、将来の交通社会を担う学生の安全意識の醸成を図ることを目的として、「第15回自転車交通安全CMコンテスト」を実施する旨、報告があった。

本年6月23日から10月3日までの間、中学生部門（ラジオCM）、高校生部門（テレビCM）、大学・専門学校生部門（テレビCM）を募集し、優秀作品は、KBS京都で放送したり、府内の学校・商業施設や警察施設等のデジタルサイネージ等で広報する旨、説明があった。

委員から、「作品テーマの1つに、『自転車の交通違反等』とあるが、これは、こういう行為が反則切符の対象となるということを教示する趣旨か。」旨、質問があり、交通部長から、「そのような観点もあるが、本来、自転車は車両と同じで交通ルールを遵守するという意識の浸透を図っている。」旨、回答があった。委員から、「来年4月から自転車の反則通告制度が始まるが、助走期間が大切であり、そういうことにも役立ててもらいたい。」「自転車の反則通告制度について、生徒・学生に対してどのようにアプローチをするのが大切であり、なるべく多数の生徒・学生に参加してもらい、学校内で放映等されるのが望ましい。」旨、発言があった。

(4) 大雨による災害を想定した交通対策訓練の実施について

交通部長から、本年6月27日、国土交通省京都国道事務所、京都市、亀岡市、西日本高速道路株式会社とともに、大雨による災害を想定した通行止めなどの実践的な訓練を実施する旨、報告があった。

警察本部等で実地本部設置訓練を行ったり、国道1号や国道9号等で連続雨量による通行止め及び迂回誘導訓練等を実施する旨、説明があった。

委員から、「最近の気候状況を考えると重要な訓練だと思う。訓練で明らかになった課題は共有して、臨機応変に対応できるよう対策に反映していただきたい。」旨、発言があった。

また、委員から、「大型自動車等の迂回誘導訓練は、亀岡市内から京都市内へ向かう場合は、また亀岡方向に戻るような迂回措置をするのか。」旨、質問があり、交通部長

から、「大型車両が通行できないようになるため、通行止区間直近の交差点や単路部で転回させるのではなく、交差点を経由して迂回する等、交通を滞留させずに流れを維持し、災害の程度にもよるが、大型車は近畿道まで流すように想定している。」旨、回答があった。

(5) おもてなしのまち京都あんしん見守り事業（防犯カメラ設置）について

京都市警察部長から、京都府民と京都を訪れる全ての人々の安全・安心を確保するため、繁華街、観光地等の要所に防犯カメラを設置する旨、報告があった。

委員から、「京都市内には、既にどのくらい防犯カメラが設置されているのか。」旨、質問があり、京都市警察部長から、「地域団体等が設置したカメラが約 3,000 台程あると把握している。」旨、回答があった。

警察本部長から、「輸送事業者のドライブレコーダー搭載車両も含め、街頭に設置された防犯カメラの画像は、犯罪防止だけでなく事後捜査にも極めて有効である。地域防犯力の強化という観点から、防犯カメラは、地域の自治体・自治会・施設の管理者に設置していただくのを基本的な姿勢としつつ、このたびの警察による防犯カメラの設置は、治安情勢、人や車の交通量、他の防犯カメラの設置状況等を総合的に勘案して、真に必要と認められる場所に設置するものである。」旨、回答があった。

委員から、「府民の安全・安心のためには、大切な取組だと思われるので、よろしくお願いしたい。」旨、発言があった。

3 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、12件の行政処分を審議した。

4 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（2件）

監察官室訟務官から、運転免許の更新処分を受けた者（2件2名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 特定抗争指定暴力団等（六代目山口組・神戸山口組）の指定期限延長について

捜査第四課主席調査官から、指定暴力団六代目山口組及び指定暴力団神戸山口組を特定抗争指定暴力団等として指定期限を延長する必要性について説明があり、審議の上、延長を決定した。

(3) 公安委員会宛て苦情について（処理2件）

公安委員会補佐室長及び公安委員会補佐室室長補佐から、過日受理した公安委員会宛ての苦情申出2件について、それぞれ調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

5 個別報告

(1) 損害賠償請求事件の勝訴について

監察官室訟務官から、京都府を被告とする損害賠償請求事件につき、令和7年5月28日、広島高等裁判所松江支部が控訴人の控訴を棄却する判決を言い渡した旨、報告が

あった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。